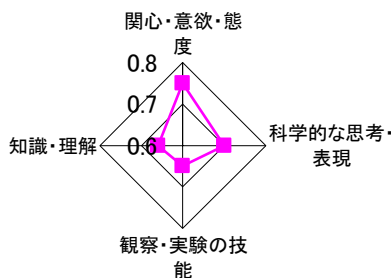


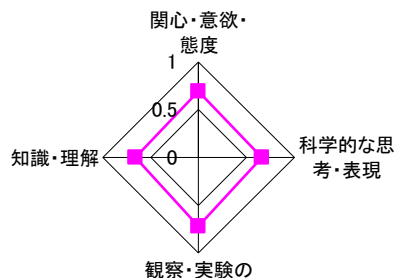
内容別・観点別の分析 (様式2)

| 1年 | 観点別平均達成率 |
|-----------|----------|
| 関心・意欲・態度 | 75% |
| 科学的な思考・表現 | 70% |
| 観察・実験の技能 | 65% |
| 知識・理解 | 66% |



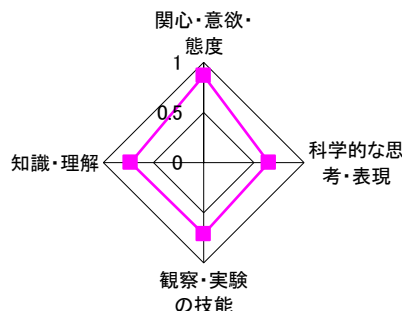
定期考査及び7月までの指導状況の分析

| 2年 | 観点別平均達成率 |
|-----------|----------|
| 関心・意欲・態度 | 69% |
| 科学的な思考・表現 | 66% |
| 観察・実験の技能 | 72% |
| 知識・理解 | 66% |



定期考査及び7月までの指導状況の分析

| 3年 | 観点別平均正答率 |
|-----------|----------|
| 関心・意欲・態度 | 87% |
| 科学的な思考・表現 | 65% |
| 観察・実験の技能 | 71% |
| 知識・理解 | 73% |



定期考査及び7月までの指導状況の分析

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)

| | 指導方法の課題分析 | 具体的な授業改善策 | 補充的・発展的な指導計画 |
|----|---|--|--|
| 1年 | 「科学的な思考・表現」は生物・地学分野の単元のためか例年より少し上回ってまっている。「知識・理解等」の学習から更に、思考力を高めていくための指導方法の工夫が必要である。顕微鏡による観察、実験などの技能や結果のまとめ・表現を充実させることが課題である。 | 授業の中で、対話をしながら科学的思考力に関わる問題を多く取り上げ、時間をかけて追究する学習形態にする。形成的評価をSP表等により分析し、次の授業に生かす。観察の結果を画面で表示したり、実験の結果のノートの評価を通して技能や表現を向上させる。 | ミニテストやその補充シートを用い基礎基本を繰り返す。繰り返教科書や資料集の発展課題を取り上げ、時には演示実験等により関心、意欲を高める。理科ノートをの点検を通して、個別の課題を指摘し、向上を図る。 |
| 2年 | 知識・理解については、比較的、定着できたと思うが、それをもとに、科学的に思考する能力、応用力については、まだ高まりきれていないので、自ら考え、表現する能力の向上が図れる指導法の工夫が必要と考える。 | ・デジタルコンテンツなどを利用した提示教材の構造化等を進め、導入教材の工夫をする。大画面による教材提示を多用し、興味、関心、意欲を高める。 ・単元毎の観点別、絶対評価用の小テストの結果を基に、評価と指導の一体化を促進する。 | 教科書や資料集、インターネットによる発展課題を補充資料として使い、意欲や関心を高め、『学ぶことの楽しさ』や『わかる喜び』を教師と生徒が共有しあえる関係づくりと「わかる授業」の指導法の研究を進めていく。 |
| 3年 | 知識・理解については、比較的、定着できたと思うが、それをもとに、科学的に思考する能力、表現力については、まだ高まりきれていないので、自ら考え、表現する能力の向上が図れる指導法の工夫が必要である。 | 知識・理解の定着に加えて、それが身近な事物・現象とどのような関わりがあるのか考えさせる実験・観察を工夫し、結果を充分に考察させる中で科学的思考の能力表現力をさらに向上させる。 | ・自ら課題を設定し、主体的に取り組むことのできる「課題解決的な学習」の展開を取り入れ、学ぶ意欲と課題を解決する能力の育成を図る。『学ぶことの楽しさ』や『わかる喜び』を教師と生徒が共有しあえる関係づくりと「わかる授業」の指導法の研究を進めていく。 |